

子どもに もっと任せて みませんか？

こんなふうに思っていないですか？

失敗したら
心配…

危ないから
やめておこう

まだ
難しいかな…

大人が
やった方が
早い

その一言で、子どもの「やりたい!」を止めてしまうこともあります。

でも、子どもは
やりたい!
ときにこそ
ぐん
と成長します。

第9号

コミ丸

コミュニティスクール通信

子ども参画って何？



やりたい!
と思う



自分の考えを
伝える



活動と一緒に
つくる



企画や運営に
関わる

小学校段階

自ら進んで
活動に参加しようとする

中学校段階

運営側の一員として
活動する

大人にできること

子どもの挑戦を支える4つの関わり方



聞く
「どうしたい？」

まずは子どもの
思いを聞いてみる。



任せる
「やってみよう!」

失敗しないことより、
挑戦することを
大切にする。



見守る
「一緒に考えよう」

すぐに答えを出さず、
子どもが考える時間を
大切にする。



認める
「よく考えたね!」

結果だけでなく、
挑戦した過程にも
目を向ける。

学校・家庭・地域は、対話して、協働する!

それぞれの役割を生かしながら、子どもの成長を支えます。

学校



- ✓ 学びを実社会につなぐ。
- ✓ 地域資源を学びに取り入れる。
- ✓ 学習成果を地域へ返していく。

家庭



- ✓ 子どもの思いに耳を傾ける。
- ✓ 挑戦を後押しする。
- ✓ できたことを一緒に喜ぶ。

地域



- ✓ 子どもが参加したくなる企画を考える。
- ✓ 地域の子どもを見守り、応援する。

役割を分担するけれど、分断ではありません。
大切なのは、対話して、協働すること!

市内ではこんな姿も!

※令和7年度実践事例集より

地域を盛り上げる!

見沼小学校



地域のお祭りの企画・運営に子どもが参加。地域の人と話し合いながらイベントをつくっています。

学校をもっとよくする!

宮原中学校



学校生活について生徒自身が考え、学校運営協議会などで地域の人と意見交換しています。

地域の得意を授業に!

東大成小学校



地域の人の専門性や経験を生かし、子どもたちが本物に触れて学ぶ機会をつくっています。

大切なのは…「誰の役割ですか?」ではなく、

「**どんな子どもに育ってほしいか?**」
です。

学校・家庭・地域が願いを共有し、それぞれの強みや役割を生かしながら対話・協働することで、子どもたちの未来はもっと輝きます。



市内各校の実践
を紹介します。

次号予告